

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	約10年間（2012年3月30日～2022年3月22日）	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ・ボンド・マザーファンドの受益証券
	メキシコ・ボンド・マザーファンド	メキシコ・ペソ建債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。</p> <p>イ. 投資対象は、メキシコの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。</p> <p>ロ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。</p> <p>④外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、当初設定から1年以内に分配を開始し、分配開始後は、原則として、継続的な分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないません。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

メキシコ・ボンド・オープン （毎月決算型）

運用報告書（全体版）

第31期（決算日	2014年10月22日）
第32期（決算日	2014年11月25日）
第33期（決算日	2014年12月22日）
第34期（決算日	2015年1月22日）
第35期（決算日	2015年2月23日）
第36期（決算日	2015年3月23日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「メキシコ・ボンド・オープン（毎月決算型）」は、このたび、第36期の決算を行ないました。

ここに、第31期～第36期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先（コールセンター）

TEL 0120-106212

（営業日の9:00～17:00）

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

メキシコ・ボンド・オープン（毎月決算型）

■最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			シテイメキシコ国債 インデックス（円換算）		公 社 債 組入比率	純資産 総 額
	（分配落）	税込み 分配金	期 中 騰落率	（参考指数）	期 中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
7 期末(2012年10月22日)	10,338	0	2.7	10,389	2.4	97.3	103
8 期末(2012年11月22日)	10,594	0	2.5	10,661	2.6	96.6	105
9 期末(2012年12月25日)	11,067	0	4.5	11,155	4.6	99.2	110
10 期末(2013年1月22日)	12,274	0	10.9	12,366	10.9	98.6	122
11 期末(2013年2月22日)	12,813	0	4.4	12,926	4.5	98.3	128
12 期末(2013年3月22日)	13,475	20	5.3	13,636	5.5	97.6	134
13 期末(2013年4月22日)	14,749	20	9.6	14,957	9.7	97.4	147
14 期末(2013年5月22日)	14,866	20	0.9	15,153	1.3	96.7	148
15 期末(2013年6月24日)	※ 8,551	80	※△ 17.1	12,530	△ 17.3	99.1	122
16 期末(2013年7月22日)	9,395	80	10.8	13,913	11.0	98.9	134
17 期末(2013年8月22日)	8,346	80	△ 10.3	12,546	△ 9.8	97.8	213
18 期末(2013年9月24日)	8,842	80	6.9	13,448	7.2	90.7	282
19 期末(2013年10月22日)	8,682	80	△ 0.9	13,318	△ 1.0	94.3	362
20 期末(2013年11月22日)	8,600	80	△ 0.0	13,396	0.6	95.4	496
21 期末(2013年12月24日)	8,808	80	3.3	13,900	3.8	97.4	892
22 期末(2014年1月22日)	8,526	80	△ 2.3	13,603	△ 2.1	99.1	1,031
23 期末(2014年2月24日)	8,392	80	△ 0.6	13,587	△ 0.1	94.6	1,206
24 期末(2014年3月24日)	8,367	80	0.7	13,713	0.9	97.3	1,318
25 期末(2014年4月22日)	8,535	80	3.0	14,082	2.7	96.7	1,429
26 期末(2014年5月22日)	8,581	80	1.5	14,336	1.8	95.1	1,293
27 期末(2014年6月23日)	8,629	100	1.7	14,596	1.8	98.4	1,246
28 期末(2014年7月22日)	8,549	100	0.2	14,662	0.5	98.0	1,438
29 期末(2014年8月22日)	8,599	100	1.8	14,864	1.4	97.0	1,670
30 期末(2014年9月22日)	8,775	100	3.2	15,364	3.4	97.3	1,990
31 期末(2014年10月22日)	8,330	100	△ 3.9	14,812	△ 3.6	97.1	2,017
32 期末(2014年11月25日)	9,089	100	10.3	16,383	10.6	96.5	2,351
33 期末(2014年12月22日)	8,525	100	△ 5.1	15,596	△ 4.8	97.0	2,508
34 期末(2015年1月22日)	8,388	100	△ 0.4	15,629	0.2	96.9	2,740
35 期末(2015年2月23日)	8,147	100	△ 1.7	15,389	△ 1.5	98.2	2,823
36 期末(2015年3月23日)	8,013	100	△ 0.4	15,530	0.9	97.2	2,880

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) シテイメキシコ国債インデックス（円換算）は、シテイメキシコ国債インデックス（メキシコ・ペソベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

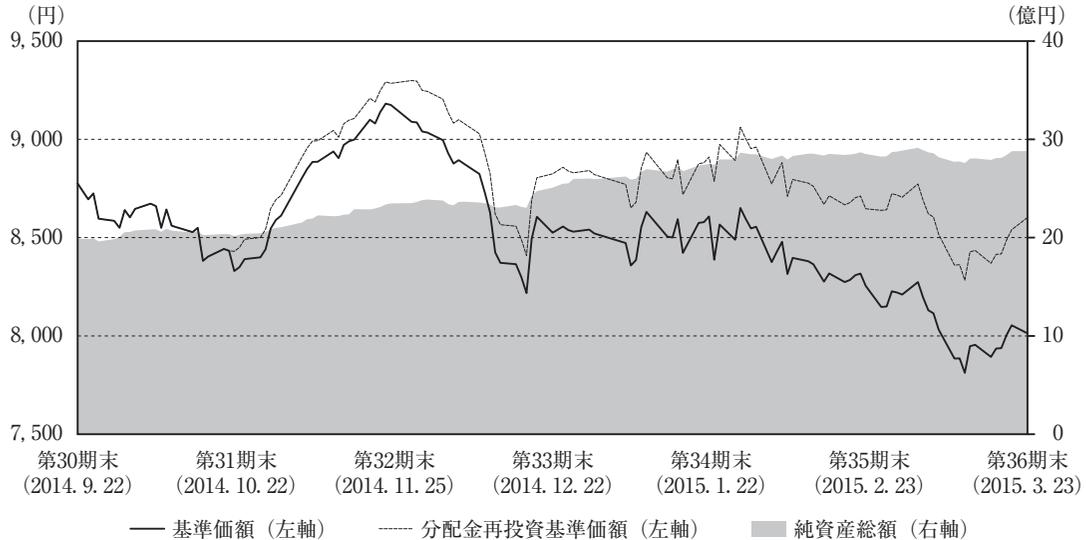
(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

※2013年6月3日に受益権7口に対して10口の割合で分割を行いました。第15期末の基準価額は受益権の分割の影響を受けています。また、第15期末の期中騰落率は、受益権の分割が基準価額に与えた影響を除いた数値です。

■ 当作成期間（第31期～第36期）中の基準価額と市況の推移



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

	年 月 日	基 準 価 額		シティメキシコ国債インデックス (円換算) (参考指数)		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	
第31期	(期首)2014年9月22日	8,775	—	15,364	—	97.3
	9月末	8,550	△ 2.6	14,969	△ 2.6	96.2
	(期末)2014年10月22日	8,430	△ 3.9	14,812	△ 3.6	97.1
第32期	(期首)2014年10月22日	8,330	—	14,812	—	97.1
	10月末	8,612	3.4	15,324	3.5	97.2
	(期末)2014年11月25日	9,189	10.3	16,383	10.6	96.5
第33期	(期首)2014年11月25日	9,089	—	16,383	—	96.5
	11月末	9,035	△ 0.6	16,273	△ 0.7	95.5
	(期末)2014年12月22日	8,625	△ 5.1	15,596	△ 4.8	97.0
第34期	(期首)2014年12月22日	8,525	—	15,596	—	97.0
	12月末	8,521	△ 0.0	15,538	△ 0.4	98.9
	(期末)2015年1月22日	8,488	△ 0.4	15,629	0.2	96.9
第35期	(期首)2015年1月22日	8,388	—	15,629	—	96.9
	1月末	8,555	2.0	15,884	1.6	98.8
	(期末)2015年2月23日	8,247	△ 1.7	15,389	△ 1.5	98.2
第36期	(期首)2015年2月23日	8,147	—	15,389	—	98.2
	2月末	8,210	0.8	15,533	0.9	96.8
	(期末)2015年3月23日	8,113	△ 0.4	15,530	0.9	97.2

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

第31期首：8,775円 第36期末：8,013円（既払分配金600円） 騰落率：△2.0%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入は基準価額にプラスに寄与しましたが、メキシコ・ペソが円に対して下落したことが基準価額の値下がり要因となりました。

◆投資環境について

○債券市況

メキシコ債券市況は、第31期首より、原油価格の下落を受けたメキシコのインフレ見通しの低下や景気回復の遅れ、先進国における金融緩和の動きの影響から金利は低下しました。その後、金融政策委員会の議事録で一部の委員が早い時期の利上げの必要性を示唆したことや、米国の雇用統計の上振れを受けた米国債の価格下落に影響されて、金利低下幅を縮小しました。

○為替相場

2014年10月中旬から、日銀の金融緩和等を背景に円安が進行したためメキシコ・ペソは対円で上昇しましたが、11月下旬に入り、原油価格の下落などをを受けた市場のリスク回避姿勢の高まりなどから、下落に転じました。その後、米国の利上げ開始への期待感が強まる中で新興国通貨は神経質な展開となり、ペソも弱含んで推移しました。

◆前作成期間末における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。マザーファンドの運用につきましては、主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

○当ファンド

当作成期間を通じて「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

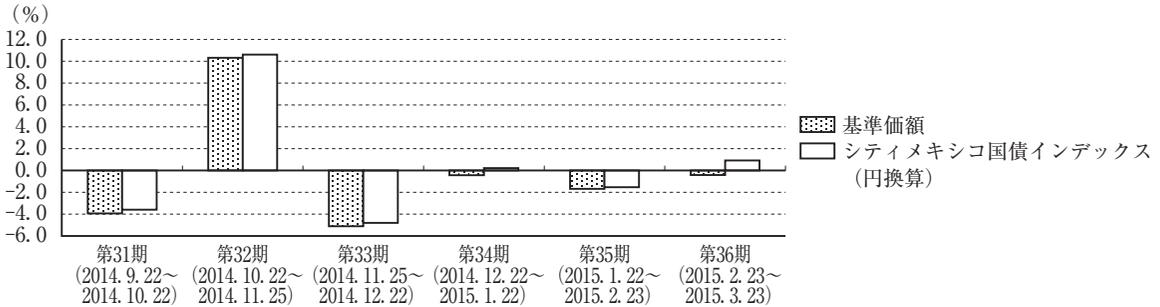
○メキシコ・ボンド・マザーファンド

- ・基本的な商品性格に基づき、メキシコ・ペソ建てのメキシコ国債および政府機関債に投資しました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで5.2（年）～6.3（年）程度としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



◆分配金について

【収益分配金】

第31期から第36期の1万口当り分配金（税込み）はそれぞれ100円といたしました。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期
	2014年9月23日 ～2014年10月22日	2014年10月23日 ～2014年11月25日	2014年11月26日 ～2014年12月22日	2014年12月23日 ～2015年1月22日	2015年1月23日 ～2015年2月23日	2015年2月24日 ～2015年3月23日
当期分配金（税込み）(円)	100	100	100	100	100	100
対基準価額比率 (%)	1.19	1.09	1.16	1.18	1.21	1.23
当期の収益(円)	30	100	27	30	35	32
当期の収益以外(円)	69	—	72	69	64	67
翌期繰越分配対象額(円)	3,129	3,507	3,439	3,372	3,310	3,243

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

【決定根拠、留保益の今後の運用方針】

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期
(a) 経費控除後の配当等収益	30.35円	46.56円	27.32円	30.48円	35.67円	32.01円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	428.49	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	3,017.78	3,032.27	3,109.13	3,148.37	3,165.70	3,174.79
(d) 分配準備積立金	181.41	100.65	403.21	294.00	208.91	136.96
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	3,229.54	3,607.99	3,539.67	3,472.85	3,410.28	3,343.77
(f) 分配金	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	3,129.54	3,507.99	3,439.67	3,372.85	3,310.28	3,243.77

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

《今後の運用方針》

○当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、引続き「メキシコ・ボンド・マザーファンド」の受益証券を高位で組入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

○メキシコ・ボンド・マザーファンド

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	第31期～第36期		項 目 の 概 要
	(2014. 9. 23～2015. 3. 23)		
	金 額	比 率	
信託報酬	62円	0. 732%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額（月末値の平均値）は8, 507円です。
（投信会社）	(28)	(0. 328)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
（販売会社）	(33)	(0. 383)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	(2)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	3	0. 041	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0. 031)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(1)	(0. 007)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	66	0. 773	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買および取引の状況 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2014年9月23日から2015年3月23日まで)

決算期	第31期～第36期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
メキシコ・債券・マザーファンド	661,944	1,018,600	56,912	87,000

(注) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表 親投資信託残高

種類	第30期末	第36期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
メキシコ・債券・マザーファンド	1,299,048	1,904,081	2,870,973

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当作成期間（第31期～第36期）中における利害関係人との取引はありません。

■投資信託財産の構成

2015年3月23日現在

項目	第36期末	
	評価額	比率
	千円	%
メキシコ・債券・マザーファンド	2,870,973	98.3
コール・ローン等、その他	48,955	1.7
投資信託財産総額	2,919,929	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月23日における邦貨換算レートは、1メキシコ・ペソ=7.97円です。

(注3) メキシコ・債券・マザーファンドにおいて、第36期末における外貨建純資産(2,860,346千円)の投資信託財産総額(2,870,934千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年10月22日)、(2014年11月25日)、(2014年12月22日)、(2015年1月22日)、(2015年2月23日)、(2015年3月23日)現在

項目	第31期末	第32期末	第33期末	第34期末	第35期末	第36期末
(A) 資産	2,043,665,616円	2,380,661,533円	2,543,916,742円	2,776,651,970円	2,864,064,345円	2,919,929,008円
コール・ローン等	3,570,557	32,328,450	49,599,368	41,683,882	39,442,525	48,955,342
メキシコ・債券・マザーファンド(評価額)	2,014,095,059	2,348,333,083	2,494,317,374	2,714,968,088	2,821,621,820	2,870,973,666
未収入金	26,000,000	—	—	20,000,000	3,000,000	—
(B) 負債	26,649,500	29,327,255	35,874,644	35,974,184	40,147,408	39,203,410
未払収益分配金	24,214,574	25,869,301	29,418,785	32,672,813	34,661,061	35,952,693
未払解約金	—	474,446	3,880,523	—	1,807,953	—
未払信託報酬	2,421,388	2,953,452	2,531,128	3,239,053	3,595,966	3,150,669
その他未払費用	13,538	30,056	44,208	62,318	82,428	100,048
(C) 純資産総額(A-B)	2,017,016,116	2,351,334,278	2,508,042,098	2,740,677,786	2,823,916,937	2,880,725,598
元本	1,695,020,207	1,810,851,086	2,059,314,956	2,287,096,976	2,426,274,317	2,516,688,516
次期繰越損益金	321,995,909	540,483,192	448,727,142	453,580,810	397,642,620	364,037,082
(D) 受益権総口数	2,421,457,442口	2,586,930,127口	2,941,878,513口	3,267,281,399口	3,466,106,172口	3,595,269,313口
1万口当り基準価額(C/D)	8,330円	9,089円	8,525円	8,388円	8,147円	8,013円

* 第30期末における元本額は1,587,558,674円、当作成期間（第31期～第36期）中における追加設定元本額は1,222,764,125円、同解約元本額は293,634,283円です。

* 第36期末の計算口数当りの純資産額は8,013円です。

メキシコ・ボンド・オープン（毎月決算型）

■損益の状況

項 目	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期	第 36 期
(A) 配 当 等 収 益	425円	545円	567円	703円	842円	657円
受 取 利 息	425	545	567	703	842	657
(B) 有価証券売買損益	△ 77,166,227	209,524,846	△ 113,876,343	△ 9,350,525	△ 46,543,367	△ 7,900,697
売 買 益 損	1,357,496	215,238,024	3,099,239	251,672	28,240	436,531
売 買 損	△ 78,523,723	△ 5,713,178	△ 116,975,582	△ 9,602,197	△ 46,571,607	△ 8,337,228
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,434,926	△ 2,969,970	△ 2,545,280	△ 3,257,163	△ 3,616,076	△ 3,168,289
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 79,600,728	206,555,421	△ 116,421,056	△ 12,606,985	△ 50,158,601	△ 11,068,329
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	43,929,049	△ 57,620,554	118,620,206	△ 26,888,483	△ 71,251,803	△ 153,351,728
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	381,882,162	417,417,626	475,946,777	525,749,091	553,714,085	564,409,832
配 当 等 相 当 額	(730,743,272)	(784,427,705)	(914,670,831)	(1,028,663,015)	(1,097,265,914)	(1,141,422,877)
売 買 損 益 相 当 額	(△ 348,861,110)	(△ 367,010,079)	(△ 438,724,054)	(△ 502,913,924)	(△ 543,551,829)	(△ 577,013,045)
(G) 合 計 (D+E+F)	346,210,483	566,352,493	478,145,927	486,253,623	432,303,681	399,989,775
(H) 収 益 分 配 金	△ 24,214,574	△ 25,869,301	△ 29,418,785	△ 32,672,813	△ 34,661,061	△ 35,952,693
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	321,995,909	540,483,192	448,727,142	453,580,810	397,642,620	364,037,082
追 加 信 託 差 損 益 金	381,882,162	417,417,626	475,946,777	525,749,091	553,714,085	564,409,832
配 当 等 相 当 額	(730,743,272)	(784,427,705)	(914,670,831)	(1,028,663,015)	(1,097,265,914)	(1,141,422,877)
売 買 損 益 相 当 額	(△ 348,861,110)	(△ 367,010,079)	(△ 438,724,054)	(△ 502,913,924)	(△ 543,551,829)	(△ 577,013,045)
分 配 準 備 積 立 金	27,063,892	123,065,566	97,241,198	73,344,042	50,115,577	24,800,783
繰 越 損 益 金	△ 86,950,145	—	△ 124,460,833	△ 145,512,323	△ 206,187,042	△ 225,173,533

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表を参照。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 31 期	第 32 期	第 33 期	第 34 期	第 35 期	第 36 期
(a) 経費控除後の配当等収益	7,349,417円	12,046,818円	8,039,777円	9,958,684円	12,364,006円	11,511,224円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	110,848,074	0	0	0	0
(c) 収 益 調 整 金	730,743,272	784,427,705	914,670,831	1,028,663,015	1,097,265,914	1,141,422,877
(d) 分 配 準 備 積 立 金	43,929,049	26,039,975	118,620,206	96,058,171	72,412,632	49,242,252
(e) 当 期 分 配 対 象 額 (a+b+c+d)	782,021,738	933,362,572	1,041,330,814	1,134,679,870	1,182,042,552	1,202,176,353
(f) 分 配 金	24,214,574	25,869,301	29,418,785	32,672,813	34,661,061	35,952,693
(g) 翌 期 繰 越 分 配 対 象 額 (e-f)	757,807,164	907,493,271	1,011,912,029	1,102,007,057	1,147,381,491	1,166,223,660
(h) 受 益 権 総 口 数	2,421,457,442口	2,586,930,127口	2,941,878,513口	3,267,281,399口	3,466,106,172口	3,595,269,313口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万 口 当 り 分 配 金	第31期	第32期	第33期	第34期	第35期	第36期
		100円	100円	100円	100円	100円
（ 単 価 ）	（8,330円）	（9,089円）	（8,525円）	（8,388円）	（8,147円）	（8,013円）

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記（ ）内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

《お知らせ》

●運用報告書（全体版）の電子交付について

2014年12月1日施行の法改正により、運用報告書は「交付運用報告書」と「運用報告書（全体版）」（本書）の2種類になりましたが、「運用報告書（全体版）」については、交付に代えて電子交付する旨を信託約款に定めました。

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点に変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。

【本資料は、受益者のみなさまにファンドの運用状況をお知らせするためのものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。】

メキシコ・ボンド・マザーファンド

運用報告書 第3期 (決算日 2015年3月23日)

(計算期間 2014年3月25日～2015年3月23日)

メキシコ・ボンド・マザーファンドの第3期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	メキシコ・ペソ建債券
運用方法	①主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 ②運用にあたっては、以下の方針を基本とします。 イ. 投資対象は、メキシコの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券とします。 ロ. 金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。 ③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託します。 ④外貨建資産の組入比率は、通常の状態 で高位に維持することを基本とします。 ⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。
株式組入制限	純資産総額の10%以下

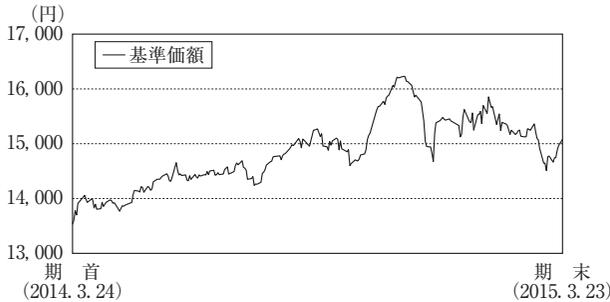
大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



年月日	基準価額		シティメキシコ国債 インデックス(円換算)		公社債 組入 比率
	円	騰落率 %	(参考指数)	騰落率 %	
(期首)2014年3月24日	13,537	—	13,713	—	97.5
3月末	13,996	3.4	14,111	2.9	97.5
4月末	13,868	2.4	14,032	2.3	85.8
5月末	14,411	6.5	14,555	6.1	95.9
6月末	14,435	6.6	14,595	6.4	98.9
7月末	14,517	7.2	14,646	6.8	98.4
8月末	14,818	9.5	14,926	8.8	97.7
9月末	14,880	9.9	14,969	9.2	96.4
10月末	15,192	12.2	15,324	11.7	97.5
11月末	16,132	19.2	16,273	18.7	96.0
12月末	15,417	13.9	15,538	13.3	99.1
2015年1月末	15,677	15.8	15,884	15.8	98.8
2月末	15,243	12.6	15,533	13.3	97.1
(期末)2015年3月23日	15,078	11.4	15,530	13.2	97.5

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) シティメキシコ国債インデックス(円換算)は、シティメキシコ国債インデックス(メキシコ・ペソベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

【運用経過】

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：13,537円 期末：15,078円 騰落率：11.4%

【基準価額の主な変動要因】

投資している債券の利息収入に加えて、債券の値上がりやメキシコ・ペソが円に対して上昇したことが、基準価額の値上がりに寄りました。

◆投資環境について

○債券市況

メキシコ債券市況は、期首より、メキシコの景気回復の遅れやインフレの落ち着きから金利は低下しました。その後も、2014年6月に予想外の利下げが行なわれたことから金利は大幅に低下しました。8月に入ると、GDP(国内総生産)成長率が予想を上回って加速し、メキシコの景気回復が確認されたことなどから金利は上昇し、その後も米国債の価格下落に連れて金利上昇が継続しました。しかし、2014年末ごろから、原油価格の下落を受けたメキシコのインフレ見通しの低下や景気回復の遅れ、先進国における金融緩和の動きの影響から金利は低下しました。その後、金融政策委員会の議事録で一部の委員が早い時期の利上げの必要性を示唆したことや、米国の雇用統計の上振れを受けた米国債の価格下落に影響されて、金利低下幅を縮小しました。

○為替相場

メキシコ・ペソ為替相場は、期首より、構造改革に対する期待から上昇する場面もあった一方で、2014年6月に予想外の利下げが行なわれたことにより下落するなど、もみ合い推移が続きました。8月以降は、エネルギー改革の関連法案が議会で成立したことでメキシコのエネルギー資源に対する海外からの投資フローの期待が高まったことや、円安が進行したことなどから、ペソは対円で上昇傾向となりました。その後も、日銀の金融緩和等を背景に円安が進行したためペソは対円で上昇しましたが、11月下旬に入り、原油価格の下落などを受けた市場のリスク回避姿勢の高まりなどから、下落に転じました。その後、米国の利上げ開始への期待感が強まる中で新興国通貨は神経質な展開となり、ペソも弱含んで推移しました。

◆前期における「今後の運用方針」

当ファンドの商品性格に鑑み、主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

◆ポートフォリオについて

- 基本的な商品性格に基づき、メキシコ・ペソ建てのメキシコ国債および政府機関債に投資しました。
- 債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで5.2(年)～7.3(年)程度としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、それぞれ11.4%、13.3%となりました。

【今後の運用方針】

主として、メキシコ・ペソ建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。債券ポートフォリオにつきましては、メキシコ・ペソ建ての国債を中心に投資する予定です。ポートフォリオの修正デュレーションについては、金利や物価の動向、経済状況や市場環境等に応じて柔軟に変化させます。

メキシコ・ボンド・マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	12 (10)
(その他)	(2)
合 計	12

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2014年3月25日から2015年3月23日まで)

外 国	メ キ シ コ	国債証券	買 付 額	売 付 額
			千メキシコ・ペソ	千メキシコ・ペソ
			589,248	(479,816)
		特殊債券	76,358	(—)

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公 社 債

(2014年3月25日から2015年3月23日まで)

買 付 銘 柄	当 期 金 額	銘 柄	付 金 額
Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	1,516,799	Mexican Bonos (メキシコ) 7.25% 2016/12/15	969,559
Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2036/11/20	519,554	Mexican Bonos (メキシコ) 10% 2036/11/20	445,076
Mexican Bonos (メキシコ) 4.75% 2018/6/14	421,793	Mexican Bonos (メキシコ) 6.5% 2022/6/9	319,397
Petroleos Mexicanos (メキシコ) 7.19% 2024/9/12	352,018	Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2029/5/31	279,971
Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2042/11/13	282,643	Mexican Bonos (メキシコ) 4.75% 2018/6/14	276,255
Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2029/5/31	270,547	Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2015/12/17	270,830
Petroleos Mexicanos (メキシコ) 7.65% 2021/11/24	251,403	Mexican Udibonos (メキシコ) 5% 2016/6/16	222,619
Mexican Udibonos (メキシコ) 5% 2016/6/16	224,546	Mexican Bonos (メキシコ) 7.5% 2027/6/3	198,343
Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2015/12/17	209,518	Mexican Udibonos (メキシコ) 4.5% 2035/11/22	180,223
Mexican Bonos (メキシコ) 8.5% 2038/11/18	193,324	Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2023/12/7	142,914

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国(外貨建)公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期 評 価 額			組入比率	うちBBB格以下組入率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	千 円			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコ・ペソ 316,200	千メキシコ・ペソ 351,386	千円 2,800,549	% 97.5	% —	% 59.9	% 11.0	% 26.6	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					千メキシコ・ペソ	千円	
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	7,500	9,795	78,072	2024/12/05
	Mexican Bonos	国債証券	7.2500	90,800	95,930	764,563	2016/12/15
	Mexican Bonos	国債証券	10.0000	26,700	37,834	301,540	2036/11/20
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	8,000	9,738	77,611	2029/05/31
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	18,600	20,864	166,290	2018/12/13
	Mexican Bonos	国債証券	8.5000	14,500	18,069	144,013	2038/11/18
	Mexican Bonos	国債証券	8.0000	2,000	2,254	17,970	2020/06/11
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	13,300	15,222	121,320	2031/05/29
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	32,500	37,771	301,041	2042/11/13
	Mexican Bonos	国債証券	4.7500	18,800	18,772	149,614	2018/06/14
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	10,500	12,123	96,625	2034/11/23
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	30,000	31,084	247,743	2021/11/24
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.1900	43,000	41,925	334,142	2024/09/12
合 計	銘柄数 金 額	13銘柄		316,200	351,386	2,800,549	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2015年3月23日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	2,800,549	97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等、その他	70,384	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	2,870,934	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月23日における邦貨換算レートは、1メキシコ・ペソ=7.97円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(2,860,346千円)の投資信託財産総額(2,870,934千円)に対する比率は、99.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2015年3月23日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	2,870,934,199円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	13,355,784
公 社 債 (評価額)	2,800,549,536
未 収 利 息	42,419,487
前 払 費 用	14,609,392
(B)負 債	—
(C)純 資 産 総 額 (A-B)	2,870,934,199
元 本	1,904,081,222
次 期 繰 越 損 益 金	966,852,977
(D)受 益 権 総 口 数	1,904,081,222口
1万口当り基準価額 (C/D)	15,078円

* 期首における元本額は971,350,098円、当期中における追加設定元本額は1,233,574,594円、同解約元本額は300,843,470円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、メキシコ・ボンド・オープン（毎月決算型）1,904,081,222円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,078円です。

■損益の状況

当期 自2014年3月25日 至2015年3月23日

項 目	当 期
(A)配当等収益	121,564,314円
受取利息	121,564,314
(B)有価証券売買損益	14,884,739
売買益	83,348,415
売買損	△ 68,463,676
(C)その他費用	△ 1,563,372
(D)当期損益金 (A+B+C)	134,885,681
(E)前期繰越損益金	343,548,420
(F)解約差損益金	△ 131,156,530
(G)追加信託差損益金	619,575,406
(H)合計 (D+E+F+G)	966,852,977
次期繰越損益金 (H)	966,852,977

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

《お知らせ》

●書面決議手続きの改正について

重大な約款変更や繰上償還の際に行なう書面決議について、2014年12月1日施行の法改正により以下の点が変更されたことに伴い、信託約款の該当箇所の変更を行ないました。

- ・書面決議の可決要件が、「受益者の半数以上の賛成かつ受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」から「受益者の保有する議決権の3分の2以上の賛成を得ること」に変更されました。
- ・投資信託の併合を行なう際、すべての場合で書面決議が必要とされてきましたが、その併合が受益者の利益に及ぼす影響が軽微なものであるときは、当該併合に関する書面決議が不要となりました。
- ・書面決議に反対した受益者による受益権買取請求の規定について、一部解約請求に応じる投資信託（当ファンドは該当します。）には適用されなくなりました。